

# ◀ 第5次浜頓別町まちづくり計画 ▶

## まちづくり計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果を公表します

8月28日から9月10日までの間、第5次浜頓別町まちづくり計画（素案）について意見募集を行った結果、10件のご意見をお寄せいただきました。

この度、意見の概要と意見に対する町の考え方がまとまりましたので公表します。  
ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

問合せ 役場総務課企画広報係 ☎ 2-2345 (内線 218・220)

### 項目 第1章 序論（全体を通して）

**（意見）**～策定趣旨及び取組方針、また、第2章基本構想の根本基調やコンセプトは全く同感ですが、計画策定の視点・取組方針にある重点化・効率化、実効性・実現性、総合性の戦略的展開が第3章基本計画に反映されていません。それは前計画（リード21）が、メリハリの無い総花的・非総合的な戦略性に欠けている構成傾向であった事の検証が洩れていたためであると考えられます。

**（回答）**～今回の計画は、前計画（リード21）の計画内容及び主要施策について、関係各課や庁内で組織しているプロジェクトチーム・策定委員会の中で総合的かつ横断的に現状分析・課題の整理等を行ったうえで、素案としてとりまとめたものとなっています。

### 項目 第1章 序論 3. 策定の取組方針

**（意見）**～（2）新計画策定の視点と取組方針に「前計画とは異なり戦略性を考慮した取り組み構成とする。」等の趣旨が明確に表現されていることが望ましいと思われます。

**（回答）**～計画策定の視点の一つに継続性を掲げていることから、前計画とは全く異なるものと捉えられるような表現は避けています。戦略性については、施策の実効性・実現性の確保（選択と集中的観点）で表現しています。

**（意見）**～計画策定の取組方針において、計画策定の視点を重点化・効率化にあるように限られた資源を有効に使用しなければならない戦略の必要性の見地から、実効性・実現性の確保において「選択と重点的な展開」を「重要性及び優先性を踏まえての選択と重点的な展開」に追加修正することにより、重要概念である「選択と集中」を基本計画に反映する必要があると思われます。

**（回答）**～意見の趣旨は理解できるものであり、関係各課の計画策定作業においても、「選択と集中」の観点を踏まえ前期5ヶ年の主要施策を計画してきているため、文章表現については今後検討していきます。

### 項目 第2章 基本構想 2. まちづくりの基本目標

**（意見）**～（1）豊かな自然環境を活かしたまちづくりにおいて、キーワードであると思われる「保護と共生」が、「快適で人と自然と心触れ合う保護と共生をめざした豊かな日常生活が営めるよう」に追加修正したら明確になると思われます。

**（回答）**～ご意見の趣旨を踏まえ、文章表現について今後検討していきます。

**（意見）**～（4）個性豊かな人づくりと文化を育むまちづくりにおいて、少子化やグローバル化社会への対応として、児童・青少年においては、『生きる力』をつけることが要求されています。したがって「強く・たくましく・世の中に大きく羽ばたけるような人づくり」の文言を追加の上、基本計画に取り入れていただきたいと思います。

**（回答）**～基本計画の教育分野の中で、ご意見の趣旨を踏まえ、計画内の文章表現について今後検討していきます。

## 項 目 第2章 基本構想 3. 計画指標

**(意見)** ~コーホート要因法で人口推計を出していることになっているが、将来社会増減要因の分析の実態把握及び条件設定に的確さが欠けているように思われます。算出された予想数値が各分野の将来構想の参考資料とはならず、むしろこの指標を基本計画に使ったならば計画を誤らせることになるように思われます。

**(回答)** ~今回の人口推計では、国勢調査の5歳階級別人口の過去の推移実績を踏まえた人口移動率を想定して推計しました。その結果、前計画(リード21)では現状維持としていましたが、今回は減少していくものと想定しました。

また、平成15年に国の機関である国立社会保障・人口問題研究所が推計した「日本の市区町村将来推計人口」(平成15年12月推計)において推計されている当町の推計人口は、平成22年(2010)を4,283人、平成27年(2015)を3,927人、平成32年(2020)を3,571人と減少人口と推計されており、今回の推計手法・結果もその内容との整合性が保たれるものとなっているので、現段階では妥当な人口推計値だと考えています。

**(意見)** ~実際に各分野の基本計画には全く当指針が使われていない状況であり、無意味な作業の結果となってしまったと思われます。このままの計画指標であるなら削除するのが望ましいと思われる。

しかしながら、基本計画の目標設定等の戦略的見地から何らかの計画指標が必要であり、基本計画において個々の分野それぞれで、特殊要因を分析・設定して盛り込んでいただきたいと思います。

**(回答)** ~当町の推計人口は、前計画(リード21)では現状維持としていましたが、今回は減少していくものと想定したことにより、人口が減少していく中での各分野の方向性を基本計画で表現しています。今回の推計人口を基本とし、その傾向と要因を踏まえた各分野の詳細な個別施策については、各分野の個別計画で検討・計画していくものと考えています。

## 項 目 第3章 基本計画 (全般共通事項「現状分析」について)

**(意見)** ~6. 計画の進行管理と評価にある「実施した結果どのような成果が得られ、各政策課題が解決できたか、課題の解決が図られていない場合は、その原因が何であったかを検証し、次の対策を立てることが求められている。」の趣旨に基づいたチェック作業となっていないため、このままではPDCAサイクルを的確に回す事が難しく、かつ「課題」考察に繋げるには難がある結果となっている。

推移状況数値において、良いか・悪いかの評価分析がなされていないため、課題展開と結びついてなく上記と同じ状況である。

**(回答)** ~今回の計画は、前計画(リード21)の計画内容及び主要施策について、関係各課や庁内で組織しているプロジェクトチーム・策定委員会で総合的かつ横断的に現状分析・課題の整理等を行ったうえで、素案としてとりまとめたものとなっています。

そのため、今後については、計画後の実行(DO)→評価(check)→改善(action)を適切に進めていきます。

## 項 目 第3章 基本計画 (全般共通事項「基本方針と主要施策」について)

**(意見)** ~基本方針は将来像と基本目的を明確に把握して、実現に向けての目標・方向及び方針・方法が明確に示されている戦略的要素がなければなりません。充実や推進や整備や向上等の言葉でまとめられているだけであり、必要条件である戦略的要素が盛り込まれた基本方針にする必要があります。

また基本方針の施策項目が総花的・各分野毎マターに留まり分野間の共通事項の整理が出されていません。計画策定の視点及び取組方針にある、選択と集中の重点化・効率化や実効性・実現性のメリハリや分野間に渡る総合性に欠けたものになっています。現状分析、課題の抽出、基本方針設定の各作業段階において、計画策定の視点・取組方針を盛り込んだものでなければならぬと思います。そのような見地に立っての検討の見直しが必要であると思います。

**(回答)** ~前述したとおり、前計画(リード21)の計画内容及び主要施策について、関係各課や庁内で組織しているプロジェクトチーム・策定委員会で総合的かつ横断的に現状分析・課題の整理等を行ったうえで、素案としてとりまとめたものとなっています。

文章表現については、今後の社会情勢や財政状況についても勘案した結果ですが、ご意見の趣旨を踏まえ、今後の関係各課及び審議会等で検討していきます。

**(意見)** ~主要施策は基本方針に基づき、次の展開である目標達成の具体的行動の戦術、How To要素が盛り込まれる実施計画を立てるための指針・目標を示すものでありますが、実施計画の性格が強いものが多々主要施策になっていて、基本計画(戦略)と実施計画(戦術)を明確に区別・整理する見直しが必要であります。

**(回答)** ~基本計画は、各分野の今後の戦略的な方向性と指針を明確に示すものと捉えており、基本計画に基づく戦術については、今後の社会情勢や財政状況を踏まえた実施計画や各分野の個別計画で検討・整理されるものと考えています。